神奈川県立保健福祉大学第二期中期目標（案）における修正箇所について

資料４

令和５年10月27日　副知事報告（第３回）における意見後の修正箇所は次のとおり

| **第二期中期目標（案）【修正後】** | **第二期中期目標（案）【修正前】** |
| --- | --- |
| ～（前略）～イ　大学院教育(ｲ) ヘルスイノベーション研究科超高齢社会を迎えている中、「未病」の概念を踏まえて、イノベーションを起こすことができる人材を育成する。【修士課程】公衆衛生学を基盤とし、イノベーションの創出に取り組み、先端技術やデータサイエンス、アドミニストレーションなど、幅広い知識や能力を持ち、多様なステークホルダーと協働できる専門人材を育成する。【博士課程】公衆衛生の視点による科学的根拠に基づいたアプローチによって社会変革に意を尽くし、国際社会の将来をけん引することができる国際的高度専門人材を育成する。　　　　　　**（削除）**～（中略）～３　研究に関する目標保健、医療及び福祉の分野において実践的な研究を行い、その成果を有効に活用する。また、県と連携し、大学の知見・資源を生かした未病の改善による健康寿命の延伸、科学的視点に基づく感染症対策、**当事者目線の**介護や障がい福祉施策**、子ども施策**などの研究等に取り組み、政策立案に活かすとともに、社会実装を推進し、県民の保健福祉の向上に寄与する。～（中略）～４　社会貢献に関する目標(1) 地域貢献急速な少子高齢社会を迎えているなか、大学が有する人的資源及び教育研究成果を活用して、地域包括ケアシステムの構築など地域が抱える課題に対する支援や、地域との連携及び協働を推進する。～（後略）～ | ～（前略）～イ　大学院教育(ｲ) ヘルスイノベーション研究科超高齢社会を迎えている中、「未病」の概念を踏まえて、イノベーションを起こすことができる人材を育成する。【修士課程】公衆衛生学を基盤とし、イノベーションの創出に取り組み、先端技術やデータサイエンス、アドミニストレーションなど、幅広い知識や能力を持ち、多様なステークホルダーと協働できる専門人材を育成する。【博士課程】公衆衛生の視点による科学的根拠に基づいたアプローチによって社会変革に意を尽くし、国際社会の将来をけん引することができる国際的高度専門人材を育成する。　　　　　　また、福祉の分野においては、介護や当事者目線の障がい福祉の科学化が構築可能な人材を育成する。～（中略）～３　研究に関する目標保健、医療及び福祉の分野において実践的な研究を行い、その成果を有効に活用する。また、県と連携し、大学の知見・資源を生かした未病の改善による健康寿命の延伸、科学的視点に基づく感染症対策、介護や障がい福祉施策などの研究等に取り組み、政策立案に活かすとともに、社会実装を推進し、県民の保健福祉の向上に寄与する。～（中略）～４　社会貢献に関する目標(1) 地域貢献急速な少子高齢社会を迎えているなか、大学が有する人的資源及び教育研究成果を活用して、地域包括ケアシステムの構築や当事者目線の障がい福祉の実現など地域が抱える課題に対する支援や、地域との連携及び協働を推進する。～（後略）～ |